



羽片は尾状で基部に特徴がある。



基部の上側一番目の裂片は大きい。

<http://nopanoniwa.jp/fern/Dennstaedtiaceae/humotosida.htm>

区別のポイント

葉は単羽状で孢子嚢群は葉の縁に付く。表面の特に裏面は多毛。鱗片はない。羽片基部の上側の裂片は大きい。

形態 常緑性の中型のシダ植物。

分布 本州（東北地方南部以南）から沖縄

名前の由来 山麓のやや乾いた林下に生じることから。

葉 **〈全体〉**卵状披針形～卵形で長さ 30 ～ 60 cm、幅 15 ～ 30 cm。やや厚めの革質で黄緑色から暗緑色、単羽状。

〈葉柄〉わら色で下半分は淡褐色、全面に毛を付ける。

〈羽片〉普通尾状で、基部は広くさび形～円形。短い柄があるか無柄。羽状に浅裂から深裂する。裂片は鋸歯縁で表面中肋上と裏面全体に短い毛がある。

備考

出典 4, ※